【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公開番号】特開2012-75059(P2012-75059A)
【公開日】平成24年4月12日(2012.4.12)
【年通号数】公開・登録公報2012-015
【出願番号】特願2010-220249(P2010-220249)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/235　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　7/28　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　7/091　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/235
Ｇ０３Ｂ　7/28
Ｇ０３Ｂ　7/091
Ｇ０３Ｂ　15/00　Ｖ

【手続補正書】
【提出日】平成24年8月29日(2012.8.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車載撮像素子で撮像される対象物の輝度と撮像された画像から検出された画像濃度との変換関係が示された非線形の露光制御出力特性を、複数種類の制御因子に対応付けて、複数記憶された記憶手段と、
予め定めた各制御因子の現在値と、前記車載撮像素子で撮像された画像から検出された複数の対象物の画像濃度の現在値と、前記記憶手段で記憶された複数の前記露光制御出力特性と、に基づいて、前記複数の対象物の輝度の現在値を出力する画像濃度輝度変換手段と、
前記画像濃度輝度変換手段から出力された前記複数の対象物の輝度の現在値と、予め定めた複数の対象物の画像濃度の目標値と、前記記憶手段で記憶された複数の前記露光制御出力特性と、に基づいて、前記車載撮像素子で撮像された画像から検出された複数の対象物の画像濃度が、前記画像濃度の目標値と一致するような前記複数種類の制御因子を出力する制御因子出力手段と、を有する画像処理装置。
【請求項２】
請求項１記載の画像処理装置において、
前記制御因子出力手段で出力された前記複数種類の制御因子に現在の制御因子から更新する制御因子更新手段を有する画像処理装置。
【請求項３】
請求項１又は請求項２に記載の画像処理装置において、
前記制御因子は、露光時間，ゲイン，ニーポイント，ガンマ係数の少なくとも１つである画像処理装置。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像処理装置において、

前記露光制御出力特性は、車載撮像素子で撮像される対象物の輝度と撮像された画像から検出された画像濃度との変換関係が示された線形の出力特性を有する画像処理装置。